

第167回関西支部研究会（見学会）議事録

2023/6/21

技術士包装物流会関西支部
関西支部長 真野仁孝
作 成 松永敬二

1. 実施日：2023年6月20日（火）

2. 参加者・移動手段：16名（当会会員・研究会会員・外部参加者）、チャーターバスで移動。

3. 見学先と工程（実績）

集合：8：20 新大阪南側：出発：8：30⇒東洋食品工業短期大学到着：9：25（見学：約90分）

出発：11：20⇒昼食場所へ⇒芦屋市総合公園（昼食） 出発：12：45⇒キューピー神戸工場到着：
13：00⇒（見学：約60分） 出発：14：15⇒新大阪：15：05解散

4. 東洋食品工業短期大学（見学概況）

(1) 概況説明（飯田学長）

①沿革：1917年東洋製缶設立、1961年東洋食品工業短期大学開学

②教員：19名、学生数：64名（30%女学生⇒2023年度）

③学科：包装食品工学科

④就職先：80%は食品・飲料メーカー

(2) 動画紹介（宮尾准教授）

①短大紹介（当日見学対象設備の動画を含む）

②食品製造実習紹介（いちごジャムのびん詰め製造）

③レトルトパウチ充填機・カップ充填機・びん充填機紹介

(3) 構内設備等見学

16名を2班に分けて巻締設備と食品製造設備を見学

①巻締設備⇒缶詰・飲料缶・瓶やPET飲料の蓋締めなど実働を見学缶詰巻締設備では参加者全員巻締め実習を体験した。

②食品製造設備⇒ゼリー用レトルトパウチ充填シール機、高温高圧調理殺菌装置レトルト包装食品殺菌装置（100℃以上で殺菌）等を見学。

(4) 質疑応答（短時間）

Q：メーカー就職と家業を継ぐ卒業生の割合は？

A：昔は缶詰屋の家業を継ぐ人もいたが現在では殆どメーカーへ就職している。

Q：動画はプレゼン用か？作業マニュアルの用途もあるのか？

A：YES、見学用プレゼンにも使うが主には作業マニュアルとして活用する。

Q：シール引張試験は引っ張るスピードで強度が変わらないか？

A：人が手で引っ張っても結果は大差ないと考えている。

(5) 真野支部長御礼

見学会の最後に真野支部長より御礼の挨拶を行って終了した。

5. キューピー株式会社神戸工場（見学概況）

(1) キューピー概況説明（島倉さん⇒女性）

①キューピーの沿革

1919年創業⇒1925年QPマヨネーズ製造販売⇒1957年キューピー（株）に社名変更
⇒1958年国内初のドレッシング製造販売

②製造拠点

北は青森県から南は佐賀県に至るまで全国に7工場があり、神戸工場は最後に出来た最新工場
（2016年10月製造開始）

③神戸工場概況

敷地面積・従業員数：64042㎡、140名（見学範囲の工場従業員は見学対応者数名を含めて全て女性）

生産品目：マヨネーズ／ドレッシング（家庭用・業務用）を生産⇒年間生産量：82000トン
（マヨネーズ：71トン／日、ドレッシング：239トン／日生産）

生産概況：原料投入から製品化及び包装・出荷工程に至るまで自動化されている（検品・マシンキーパーに作業員、包装出荷工程はロボット活用）

(2) 工場見学（主にマヨネーズ工程）

マヨネーズが出来るまで（動画鑑賞でも紹介あり）

原料：卵黄・酢・植物油（調味料）

卵は全国指定農場から仕入れ⇒割卵機で600個／分（卵黄・白味・殻に分類して全て有効活用
⇒捨てるものはゼロ）

美味しさへのこだわり：調合⇒調合タンクで卵黄・酢・植物油をミキシング

（乳化工程がポイントで手作り調合では出来ないキメ細かさを作る）

ボトリング（充填）から出荷まで

マヨネーズ充填時に空気抜き&密封⇒赤いキャップ締め⇒生産年月日印字⇒包装工程

※（ロボット積み付け：パレタイズ）⇒出荷工程

※梱包作業もロボットが行うが包装箱等の供給まで対応するので人手は不要

④マヨネーズのルーツについて（雑学）

18世紀のスペイン（地中海）のマノルカ島で或る偉い侯爵さんがレストランで食べた料理にかけられたソースを食べてその美味しさに驚いた。

そのソースが「マオンのソース」といわれた。仏語でソースをネーズというので「マオンネーズ」といわれ、やがて「マヨネーズ」となったと言われている。

(3) 質疑応答・最後の挨拶

工場見学時のポイント説明時に質疑応答を行い、御礼あいさつは記念撮影後に行った。

6. 見学会全体を通して

2019年以来4年ぶりとなる見学会を実施した。往路の車中で、平田副支部長からの見学会スケジュール・概要・注意事項の説明があり、その後、真野支部長より挨拶があった。今回の見学会は、参加者同士の親睦も目的にしているため、支部長挨拶に続き、参加者全員に自己紹介をして頂いた。

また、往路・帰路の車中ならびに芦屋市総合公園でのお弁当による昼食時に、参加者同士で懇親を深めることができ、大変有意義な見学会となった。

新大阪到着前の車中にて、松永副支部長より、本日の見学会参加の御礼、ならびに本年8月、10月、12月の研究会でも会場参加を推奨され、締めのお言葉とされた。

以上